

まねっこあそび

尊敬・公平

キーワード

尊敬：自分が好き・人が好き

公平：順番があるということやどの子とも分けへだてなく関わるなど

ねらい

まねっこをする・されるおもしろさ、楽しさを感じ、「もっと」とおとなを誘う力や遊びへの意欲につなげる。



対象

おおむね0歳～1歳半

(おとなと子どもの2人組で、年齢によっては子ども同士で)



所要時間

3分程度



準備するもの

なし

やってみよう

こんな場面で

- ・子どもがいろいろな動き、表情をしている時。



ばあー、口をレロレロ、手をぱちぱち、ほっぺぼんぼん、おなかぼんぼん、口に手をあててプー、お顔くしゃくしゃ、机や床をトントンなど

進め方

- ①おとなが子どものした動作をまねてみせる。
- ②次は、おとながしてみせるまねっこ。
ぱちぱち・ちょちちょちあわわ・オツムテンテンなど手遊び・動作をする。
- ③保育所や子育て広場など子どもが集まる場では、1人の子どもの動きをみんなでまねてみましょう。



ポイント

- ★まねっこは、好きな人、信頼を寄せている人のまねをすることから始まり、手を洗う、かんたんな片付けを手伝うなど、生活とも結び付いて身につくきっかけとなるものです。まねっこをする・されるは、やがておとなから友だちへと広がっていき、お互いに顔を見合わせて笑いあう光景が見られるようになります。「まねっこされない子」は？もし、そんな子がいたら、まわりにうんとアピールしてあげてください。
- ★保育所や子育て広場など、子どもが集まる場では、おとなと子どものまねっこをまわりで一緒にみたり、「○○ちゃんのまねしてみようか？」と誘い、みんなで○○ちゃんのまねっこをしてみるのもおもしろいです。